

科目名	ビジネスマナー I		単位数	2	科目コード				
授業形態	演習		時間数	30	開設期	1年前期			
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ 接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人格的マナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・ 敬語、ビジネス電話応対、手紙の書き方、Eメール送信の基礎を指導します。								
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する								
受講条件									
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、電話応対模擬機材、便せん、封筒、切手								
授業の到達目標									
☐ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解								
☐ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する								
☐ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う								

科目名	ビジネスマナーⅡ		単位数	2	科目コード				
授業形態	演習		時間数	30	開設期	1年前期			
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。								
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する								
受講条件									
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等								
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点		社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
□ 思考・判断の観点		社会人として常識的な行動・言動を習得する							
□ 関心・意欲の観点		物							

科目名	動物繁殖学	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年後期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定）	犬や猫の繁殖生理について学ぶ。解剖学から新生児管理までを学ぶ。 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験				
授業の一般目標	犬と猫の生殖方法を知り、繁殖について知る				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） 伴侶動物解剖生理学（緑書房）				
授業の到達目標					
☐ 知識・理解の観点	犬や猫の繁殖生理を知る				
☐ 思考・判断の観点	正常と異常を知る				
☐ 関心・意欲の観点	犬や猫の繁殖に関心を持つ				
☐ 態度の観点					
☐ 技能・表現の観点					
授業計画（全体）	テキストを用いて進める。性の発生から解剖学を学び、繁殖を学ぶ。				
授業計画（授業単位）					
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録
1～2	雄の生殖器の解剖（犬・猫）				
3～4	雌の生殖器の解剖（犬・猫）				
5～6	雌の生殖器の解剖（犬・猫）				
7～8	雌の生殖器の解剖（犬・猫）				
9～10	性に関するホルモンと発生				
11～12	確認テスト				
13～14	避妊去勢				
15～16	出産と新生児管理				
17～18	新生児保育と発達				
19～20	生殖器の疾患（雄）				
21～22	生殖器の疾患（雄）	</			

科目名	動物看護学概論Ⅰ	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1 年生前期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物業界で扱うことの多い犬と猫についての知識を深める。正常や正しい扱いを知ること、今後の安全な実習につなげる。 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー 2 級、動物看護師統一認定試験				
授業の一般目標	犬と猫の違いがわかり、安全な扱い方がわかる				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書 1 ～ 6 （緑書房）				
授業の到達目標					
☐ 知識・理解の観点 犬と猫の違いがわかり、正常を知る					
☐ 思考・判断の観点 正しい扱い方を自ら実行できる					
☐ 関心・意欲の観点 犬と猫に興味を持ち、自ら進んで調べることができる					
☐ 態度の観点 犬や猫と積極的に関わることができる					
☐ 技能・表現の観点					
授業計画（全体）					
テキストを用いて進める。扱うことの多い犬や猫の違いを学び、その後それらの動物について深く学んでいく。動物看護の観点から、トリマーも出会うであろう医療的な現場についても学んでいく。					
授業計画（授業単位）					
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録
1～2	動物看護学とは				
3～4	犬とは				
5～6	猫とは				
7～8	犬と猫の違い				
9～10	犬と猫の違い				
11～12	適切な飼育				
13～14	犬と猫の行動学				
15～16	正常（バイタル）				
17～18	保定法				
19～20					

